



葛飾北斎《富士三十六景 凱風快晴》1830（文政13）年頃 大判錦絵 山種美術館

第 125 期

2023年4月1日～2024年3月31日

株 主 通 信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました河原田岩夫でございます。第125期株主通信をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

第125期（2024年3月期）実績について

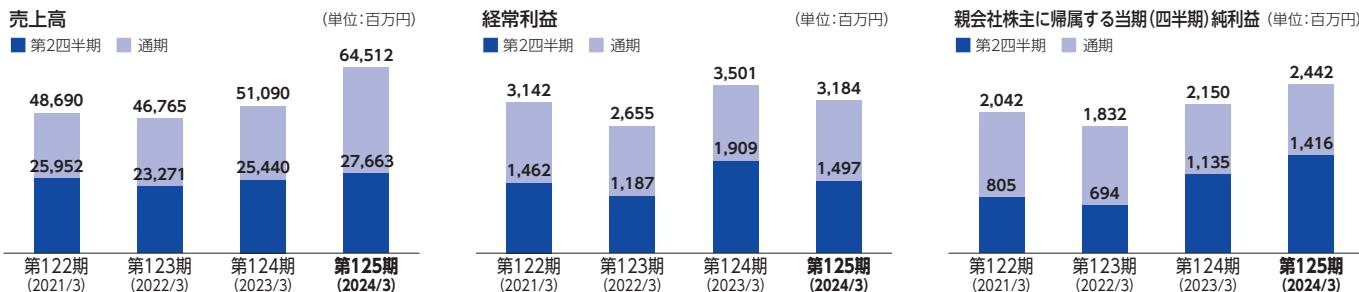
第125期（2023年4月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2023年5月より5類へ移行され、社会経済活動の正常化が進み景気は緩やかに回復いたしました。一方で、エネルギー価格や資源価格の高騰等による国内物価上昇の影響等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、物流部門の国内業務においては、社会経済活動の正常化が進む中で、倉庫事業における入庫トン数は前期を下回りました。一方で、国際業務においては、海外引越を中心として取扱件数は前年同期を上回り堅調に推移しました。食品部門では、コメ卸売販売業においては、中食や外食向けを中心に需要の復調が続いたことから、精米販売が前年同期を上回って推移いたしました。また昨年10月より100%連結子会社となった加工食品卸売業の株式会社ショクカイ（以下、「ショクカイ」という。）は、産業給食事業向け及びデリカ事業向け卸売販売共に堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は645億12百万円（前年同期比26.3%増）となりました。営業利益は、ショクカイの業績が概ね計画通りに推移し寄与しましたが、人件費の増加、物流部門における外注コストの増加、また、M&Aに伴う費用計上等があり34億89百万円（同2.8%減）となり、経常利益においても、M&Aに伴うシンジケートローン手数料の計上等があり、31億84百万円（同9.0%減）となりました。一方



連結業績ハイライト



で親会社株主に帰属する当期純利益は、さいたま市岩槻区に保有していた遊休不動産の売却による固定資産売却益や投資有価証券売却益等により24億42百万円（同13.6%増）となり、ROEは5.1%となりました。

なお、中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」の2年目となる当連結会計年度において、当中期経営計画の最終年度の財務目標の内、売上高、営業利益、EBITDA、ROEの各項目を達成いたしました。

2 中期経営計画への取り組みと 第126期(2025年3月期)の展望

当社グループは、現中期経営計画の最終年度にあたる2025年3月期に創業100周年を迎えます。当中期経営計画ではスローガンを「創業100周年に向け豊かな社会づくりにチャレンジしていく」としております。中期経営計画の最終年度にあたる2025年3月期では、創業100周年を迎えるにあたり、改めて創業当時のエネルギーに想いを馳せ、次の100年に向けてチャレンジ精神溢れる企業文化の醸成を目指してまいります。当社グループのパーパス（存在意義）である「多様な人財が集い、社会に貢献する力を生み出す」を実現するべく、個性溢れる一人ひとりの社員が、自由に意見を発信し、チャレンジできる職場環境を作るとともに、社会貢献を事業活動の中心に据え、「コア事業領域」の強化と「チャレンジ領域」の拡大を図ってまいります。その結果として、企業価値の極大化を図り、社員のエンゲージメント向上、株価向上を目指してまいります。

更なる企業価値向上に向けて、「コア事業領域」の強化、「チャレンジ領域」の取り組みを加速すべく事業戦略部を中心に、新規ビジネスに関連したM&Aや業務提携等の検討を行い、着実に推進してまいります。また、昨年10月に100%連結子会社となったショクカイとのシナジー創出に向けさらに検討を進め

てまいります。当社が所在する越中島開発計画につきましては、本年4月に新設した越中島開発推進室を中心に都市開発やCRE戦略機能を持つ外部専門業者と連携しながら来年度のグランドビジョン公表に向け、CRE戦略の観点を持って経済的価値と社会的価値を両立する開発計画の検討を推進してまいります。さらに、経営戦略の実行をより確実にするため、グループ全社員を対象とした譲渡制限付株式報酬制度の導入、人財育成のための充実した研修制度の構築、外部人財の積極的な登用、エンゲージメント向上への取り組み等、人的資本投資を拡充してまいります。

また、長期ビジョンの達成に向け、来年度から始まる次期中期経営計画も検討してまいります。次期中期経営計画につきましては、その内容が確定しましたら速やかに公表いたします。

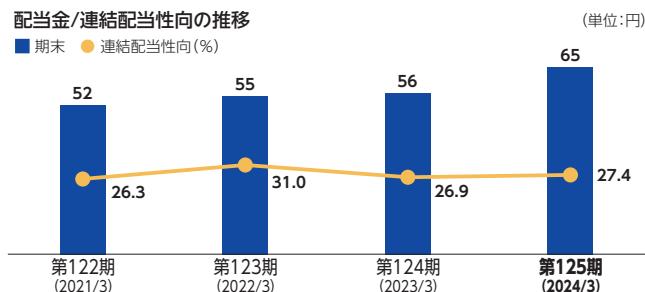
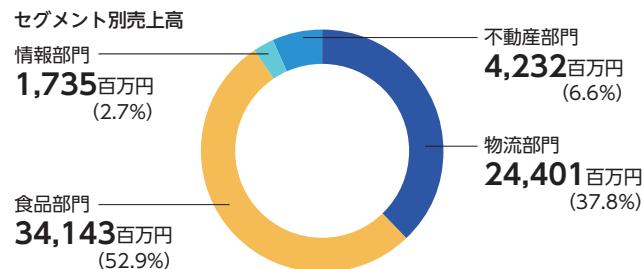
第126期の連結業績予想につきましては、売上高は765億円（前期比18.6%増）を予想し、営業利益は35億円（同0.3%増）、経常利益は33億10百万円（同3.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は26億40百万円（同8.1%増）を予想しております。中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」の最終財務目標のうち、売上高、営業利益、EBITDA、ROEの各項目に加え、配当性向についても目標達成を予想しております。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長

河原田岩夫

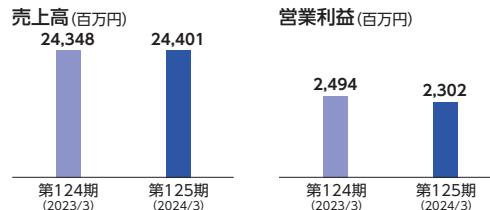


安定配当の基本方針を維持しながら株主の皆様への利益還元を強化するため「累進配当」を行うこととしております。

物流部門

■ 売上高 24,401百万円 ■ 営業利益 2,302百万円

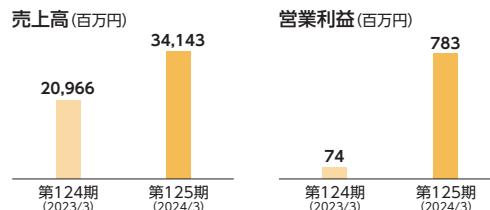
国内物流では、社会経済活動の正常化が進む中で、前期に見られた荷主が安定的な供給体制確保のため保管在庫を増加させる傾向は縮小し、倉庫事業における入庫トン数は前期を下回りました。一方で、国際業務においては、海外引越を中心として取扱件数は前期を上回り堅調に推移いたしました。この結果、売上高は244億1百万円（前期比0.2%増）となりましたが、コスト面において、雇車費用や外注作業費用等が増加する状況となり、営業利益は23億2百万円（同7.7%減）となりました。



食品部門

■ 売上高 34,143百万円 ■ 営業利益 783百万円

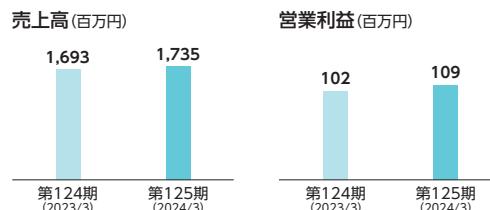
コメ卸売販売業においては、中食や外食向けを中心に需要の復調が続いたことから、精米販売は、量販店向け販売及び外食向け販売共に前期を上回って推移し、71千玄米トン（前期比14.5%増）となりました。一方で、玄米販売は、米価上昇で市場流通量が減少した影響を受け、21千玄米トン（同11.4%減）となり、総販売数量は92千玄米トン（同7.2%増）となりました。また、加工食品卸売業のショクカイは、産業給食事業向け及びデリカ事業向け卸売販売共に堅調に推移しました。この結果、売上高は341億43百万円（同62.9%増）となりました。営業利益は、ショクカイの業績が概ね計画通りに寄与し、印西精米センターでの太陽光発電システム活用による動力費の抑制や同センターの減価償却費の費用減等の要因もあったことから、7億83百万円（同949.6%増）の増益となりました。



情報部門

■ 売上高 1,735百万円 ■ 営業利益 109百万円

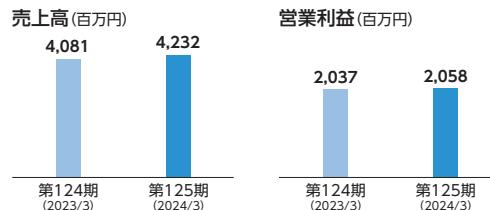
情報部門は、棚卸機器レンタル事業においては、モバイルアプリによるサービスへの転換を進めましたが、顧客の店舗削減等の影響を受けて、売上高は減少することとなりました。一方で、常駐型ビジネスでは汎用機基盤の開発や運用業務の新規獲得・拡大等のほか、顧客のインボイス対応へのシステム開発請負案件等もあり、部門全体の売上高は17億35百万円（前期比2.4%増）となり、営業利益は1億9百万円（同6.5%増）となりました。



不動産部門

■ 売上高 4,232百万円 ■ 営業利益 2,058百万円

不動産部門は、期中に一部テナントの退去はありましたが、テナント誘致を積極的に進めることにより高稼働率を維持いたしました。また、新規賃貸不動産を取得したこともあり、売上高は42億32百万円（前期比3.7%増）となりました。営業利益は「KABUTO ONE」の不動産取得税が減少したこと等により20億58百万円（同1.0%増）となりました。



当社グループ会社社員に対する 譲渡制限付株式報酬制度の導入について

当社は、2023年10月20日開催の取締役会において、当社グループ会社社員を対象に、譲渡制限付株式報酬制度（以下、「本制度」）を導入することについて決議いたしました。

本制度は、当社グループの創業日である7月3日に、当社グループ会社社員へヤマタネの単元株を割り当てるものです。当社グループ会社社員が当社株式を所有することにより、株主や投資家の皆様と同じ視点で考える経営参画意識を醸成し、持続的な企業価値の向上への取り組みが当社株式の長期的な株価上昇に繋がり、延いては経済的な利益も享受できるようにするため、導入いたしました。

株主優待アンケート 結果について

昨年秋に株主の皆様にお送りさせていただいたアンケートについて、主な集計結果をご報告いたします。

回答率 15.2%

当社株式の保有期間について

10年以上（50.8%）／ 5年以上10年未満（15.8%）／ 3年以上5年未満（13.3%）など

当社の株式を購入いただいた理由（複数回答可）

事業内容（43.9%）／ 株主優待（43.3%）／ 配当金（33.9%）／ 株価上昇期待（28.6%）など

今後の当社の株主還元策に期待すること

安定配当（40%）／ 株主優待の充実（22.8%）／ 業績連動配当（10%）など

当社に望むIR活動

株主通信の充実（43.3%）／ ホームページの充実（23.1%）など

また、自由記述欄では、様々なご意見をお寄せいただきました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後の事業活動に活かしてまいります。ご協力いただいた株主の皆様、誠にありがとうございました。

当社グループは、重点テーマに掲げる「地域コミュニティ及び生産地と農業の発展」と「環境に配慮した事業活動の推進」において2030年目標を達成すべく取り組んでおります。

地域コミュニティ及び生産地と農業の発展



環境に配慮した事業活動の推進



当社は、産地と共に成長を目指し社会的価値と経済的価値の両立を図るため、株式会社日本農業（本社：東京都品川区、代表取締役CEO：内藤 祥平、以下「日本農業」）に出資を行いました。

「続く」を支える。

ヤマタネ

● NIHON AGRI, INC.

日本農業は、「日本の農業で世界を驚かす。」をミッションに、日本の農作物の生産から販売まで一気通貫で取り組み、日本の優れた農産物及び農産物にかかる知的財産を世界に輸出し、日

本に還元することをコンセプトに事業を拡大しております。農産物の生産においては、従来の栽培方法と比較し、より生産効率の高い先進的な栽培方法を導入するとともに、研究開発にも取り組んでおり、自社での栽培に加え各産地の協力農家や新規就農者の方々に向け技術提供を行っております。

今回の出資により、当社グループの持つ産地とのネットワークと日本農業の先進的な農業技術を組み合わせ、稲作の単一経営から各種園芸作物の導入による稲作農家の複合経営を推進することで、生産者の収益の安定化や耕作放棄地の拡大防止に貢献できるソリューションの実現を目指します。また、協業活動を通じて、当社グループと日本農業は共に持続的な営農に寄与し、地域農業の成長と持続的な社会づくりに貢献します。



当社は、産地や様々な企業・団体と協働しながら「産地の続くを支える」べく取り組んでまいります。

● 第1回「ヤマタネさくらまつり」の開催

2024年3月20日に、本社ビルの所在するヤマタネ敷地内の会場（東京都江東区越中島）にて、第1回「ヤマタネさくらまつり」を開催いたしました。本イベントは、越中島の地域開発を検討している当社として、地域の方々と交流を深め当社をより知っていただく機会とするとともに、これまでのご支援への感謝の気持ちを込めて、企画・開催いたしました。

当日は、お子様を対象にした餅つき大会や、本社に隣接する深川営業所倉庫の屋上見学会など、各種イベントを実施し、地域の方々を中心とした約800名の方々にご来場いただきました。

当社グループはこれからも、このようなイベントを通じて、地域の方々とともに歩んでまいります。



▲会場入口
(大横川沿い越中島橋たもと)



▲深川営業所倉庫の屋上からの景色

● グリーンボンドの発行

印西アーカイブズセンター（2021年竣工）や印西精米センター（2022年竣工）、[KABUTO ONE]（2021年竣工）などの環境に配慮した物件の投融資に要した資金のリファイナンスに充当するため、グリーンファイナンス・フレームワークを策定し、当社初となるグリーンボンドを発行いたしました。



▲手前：印西精米センター、
奥：印西アーカイブズセンター

◀ [KABUTO ONE]

当社グループでは、これらの取り組みを通して、温室効果ガス排出削減などを実現し、環境に配慮した事業活動を推進してまいります。

四季を通じて自然との対話を重ね、さまざまな風景を描いた東山魁夷。海山の自然から古都の町並みにいたるまで、詩情豊かに表された作品は、没後四半世紀を経た今も人々から愛されています。

このたび山種美術館では、美術館が所蔵する魁夷の作品を全点公開し、季節感にあふれた風景画をご紹介します。さらに、夏をテーマにした浮世絵から近代・現代日本画にいたる名作や、涼しさの感じられる優品を選びすぎり、ご紹介する特別展を開催します。

展覧会名 【特別展】没後25年記念 東山魁夷と日本の夏

会期 2024年7月20日(土)～9月23日(月・振休)

会場 山種美術館

主催 山種美術館、日本経済新聞社

開館時間 午前10時～午後5時
(入館は閉館時間の30分前まで)

休館日 月曜日
[8/12(月・振休)、9/16(月・祝)、9/23(月・振休)は開館、8/13(火)、9/17(火)は休館 ※予定]

入館料 一般1,400円・中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
【夏の学割】大学生・高校生500円
※本展に限り、通常1,100円のところ割引。
入館日時のオンライン予約ができます
(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。

なかでも注目すべきは、皇居新宮殿にある魁夷の代表作と同趣の作品を、初代館長の山崎種二が魁夷に制作を依頼した逸品《満ち来る潮》です。また、「京洛四季」は、作家・川端康成の言葉を契機に、京都の風情と季節のうつろいを魁夷が格調高く描いた連作です。

本展では、魁夷の《満ち来る潮》を筆頭に、日本の海と銀色の月を表した横山大観の《夏の海》、青い浴衣姿の女性の一瞬のたたずまいを捉えた上村松園の《蛩》など、目にも涼やかな作品を取り揃えています。美術館で爽やかなひと時を過ごしていただければ幸いです。

お問い合わせ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

URL <https://www.yamatane-museum.jp/>

今後の展覧会

【特別展】

没後50年記念 福田平八郎×琳派 (仮称)
2024年9月29日(日)～12月8日(日)

【特別展】

HAPPYな日本美術 一伊藤若冲から横山大観へー (仮称)
2024年12月14日(土)～2025年2月24日(月・振休)

● **株主優待** 当社は、2024年3月末基準日より、株主優待制度を変更することいたしました。詳細は下記をご覧ください。

3月末基準 優待内容

株数(株)	株主優待商品
300株以上	ジュース(2本:1,100円相当)または榎田米を原料とした日本酒(一合瓶2本)の選択制
500株以上	ジュース(2本:1,400円相当)または榎田米を原料とした日本酒(四合瓶1本)の選択制
1,000株以上	ジュース(3本:1,850円相当)または榎田米を原料とした日本酒(四合瓶2本)の選択制

● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネット ホームページURL) <https://www.smbt.jp/>
<https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>

単元株式数 100株
公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<https://www.yamatane.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。

上場証券取引所 東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお手続き及びご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。